

## 「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

## ＜本年度の学力向上基本方針＞

◎ 生徒にとってわかる喜びを実感できる授業、教師としての力量を高め、きめ細やかな指導の実践

～ 授業規律の確立 学習習慣の確立 凡事徹底 ～

## ＜本年度の学力向上策＞

- ・ 充実した学習活動を展開するために、学習規律を確立させ、望ましい学習習慣を形成する。
- ・ 落ち着いた学習環境としての教室整備に留意し、常にきれいな教室づくりに取り組む。
- ・ 年間指導計画に基づき授業時数を十分に確保し、日常の50分授業を充実させる。
- ・ アクティブ・ラーニング、ICTの活用等を積極的に取り入れ、教師の授業力向上に努め、「生き生きと活動」できる授業を実践する。
- ・ 義務教育9年間を視野に入れた基礎的・基本的な事項の確実な定着を図る。
- ・ 少人数指導やTTなどを柱とした、個に応じた指導方法の工夫・改善に努める。
- ・ 全体計画・年間指導計画に基づき、道徳の時間以外における道徳教育との関連を図りながら着実に毎週の「道徳」の授業を実践する。
- ・ 全体計画・年間指導計画に基づき、「学級活動」「学級指導」「進路指導」の違いを意識して、着実に授業を実践する。
- ・ 体力向上や健康維持増進のため、体育的諸活動の推進に努める。
- ・ 生徒一人ひとりを具体的に理解し、深い信頼関係に基づく指導・援助に努める。
- ・ いじめ、差別、暴力を許さない指導を徹底する。
- ・ 評価の観点を明確にし、生徒一人ひとりのよさを生かし、育てる評価を工夫する。

《具体的な取組》

- ・ 研修会にて教員間の共通理解
- ・ 教科会での検討と実践

## ＜本年度の振り返り＞

《成果》

全国学力・学習状況調査の結果はおおむね良好であった。

《課題》

「よい授業」の集計結果から、因子1及び因子4の評価が低いという結果が出た。このことから、因子1に関して、授業規律に関わることなど「よい授業」を実現するための前提条件となることの評価を高める取組が必要である。

因子4に関しては、授業における生徒の主体的・能動的・協働的な学習活動をさらに取り入れた授業づくりをする必要がある。